

出雲市水道事業ビジョンの骨子について

出雲市水道事業は、平成 28 年度から 2 年をかけ、今後の安定的な事業運営と経営の健全化を図るため、水道事業が取り組むべき課題、基本理念に基づいた基本方針など、新たな水道事業ビジョンの策定を進めています。この度、その骨子についてとりまとめましたので報告します。

《出雲市水道事業ビジョン骨子》

1. 水道事業ビジョン策定の趣旨

出雲市水道事業の状況は、給水人口や給水量の減少に伴う料金収入の減少、水道施設の老朽化に伴う更新需要の増大、水道施設の耐震化及び平成 29 年度に完了した上水道事業への簡易水道事業の統合等を踏まえた対応が必要となってきました。

一方、国は、人口減少及び東日本大震災の経験に基づいた危機管理のあり方等から、平成 25 年 3 月に「新水道ビジョン」を策定し、水道事業者に対しては、国の示す目指すべき方向性を盛り込んだ水道事業ビジョンの策定、事業推進を求めています。

このような状況を踏まえ、新たな「出雲市水道事業ビジョン」を策定します。

○計画期間 10 年間 (平成 30 年度から平成 39 年度)

2. 概要と沿革

- 出雲市の概要 …………… 位置・地勢・面積・人口等
- 水道事業の沿革 …………… 事業創設時から現在に至るまでの沿革
- 水道事業の概要 …………… 主要な水道施設の概要

3. 現状分析と課題

「出雲市水道ビジョン」に基づき取り組んできた事業の評価、水道事業をとりまく状況及び市民アンケートの結果などから、次の課題について整理します。

- ・ 安全な水源の確保 ・ 水質の監視と管理 ・ 水道施設の耐震化
- ・ 水道施設の老朽化対策 ・ 水道サービス持続性の確保 ・ 経営基盤の安定化

4. 将来の事業環境

水道の事業環境が、将来どのように変化するかを次の項目について整理します。

- ・ 給水人口の予測 ・ 水需要の予測 ・ 料金収入の見通し
- ・ 施設の見通し ・ 組織の見通し

5. 基本理念と基本方針

出雲市水道事業の、現状分析と課題、将来の事業環境及び市民アンケートで把握したニーズなどをもとに、国の「新水道ビジョン」が示している目指すべき3つの方向性の「安全」「強靱」「持続」を踏まえ、出雲市水道事業の基本理念と、課題の解決方策を具体化した基本方針を定めます。また、それぞれの基本方針に掲げる事項について重点的に取り組みます。

◇ 基本理念 ◇

安全で安心な水を安定供給し続ける水道

◇ 基本方針 ◇

「安全」… 安全でおいしい水をとどけます

- 安全で安定した水源の確保
- 水源から蛇口までの水質保持及び衛生対策の徹底

「強靱」… 災害に強い施設をつくり、しなやかな水道を実現します

- 水道施設の耐震性能の向上
- 老朽化した水道施設及び管路の計画的な更新
- 災害時の危機管理対策の強化

「持続」… 健全な供給基盤の確保と安定的な事業運営に努めます

- 水道施設の健全で効率的な運用と再構築
- 適正な水道料金体系に基づく必要な収入の確保
- 事務事業の精査による業務の効率化
- 職員の育成と技術の継承
- 市民との連携促進と情報共有

6. 出雲市水道事業ビジョンの推進

● 投資・財政計画（経営戦略）

水道事業基本計画、耐震化基本計画、管路更新計画及びアセットマネジメントを踏まえ、将来の事業環境に基づいた投資・財政計画を示します。

● 計画推進の進捗管理

本ビジョンの基本理念に基づいた水道を実現するため、計画の進捗と基本方針に掲げる取り組みの達成状況を確認し、中間年度（概ね5年後）での評価と検証など、必要に応じて本ビジョンの点検・見直しを行うことについて記載します。